

坂巻 弘之

1 著書

- 1) 坂巻弘之：薬剤経済学。「医薬品情報学 第5版」(山崎幹夫(監修)、望月真弓、武立啓子(編集)) 2021 Mar. pp.173-181, 東京大学出版会(東京)

2 学術論文

[学術論文一査読あり]

- 1) Watada H, Sakamaki H, Yabe D, Yamamoto F, Murata T, Hanada K, Hirase T, Okamura T: Cost-Effectiveness Analysis of Linagliptin in Japan Based on Results from the Asian Subpopulation in the CARMELINA® Trial. Diabetes Ther. 2020 Aug.; 11:1721-1734.
- 2) Shinya Ohno, Yirong Chen, Hiroyuki Sakamaki, Naoki Matsumaru & Katsura, Tsukamoto (2020): Factors associated with humanistic burden and indirect cost among patients with cancer in Japan. J. Med Economics. 2020 Nov.; 5:1-9.
- 3) Shinya Ohno, Yirong Chen, Hiroyuki Sakamaki, Naoki Matsumaru, Motoaki Yoshino, and Katsura Tsukamoto: Humanistic burden among caregivers of patients with Alzheimer's disease or dementia in Japan: a large-scale cross-sectional survey. J. Med Economics. 2021 Jan.; 6:1-33.

[学術論文、論説論文一査読なし]

- 1) 坂巻弘之：多様なモダリティ開発と薬剤費コントロールをいかに両立するか。国際医薬品情報。2020年1月13日；No.1145：7-13
- 2) 坂巻弘之：医薬品の安定供給確保に関する諸外国の取り組み。国際医薬品情報。2020年7月13日；No.1157：18-21
- 3) 坂巻弘之：医薬品の安定供給に関する最近の議論について(1)安定供給に関わる問題構造。Monthly IHEP。2020年8月；No.199：1-5
- 4) 坂巻弘之：医薬品の安定供給に関する最近の議論について(2)諸外国における医薬品供給不足への取り組み。Monthly IHEP。2020年9月；No.200：1-6
- 5) 坂巻弘之：医薬品の安定供給に関する最近の議論について(3)医療用医薬品の安定確保策に関する関係者会議の議論と今後の方向性。Monthly IHEP。2020年10月；No.201：6-9
- 6) 坂巻弘之、舟越亮寛、安室修、伊勢崎竜也：医療機関におけるバイオシミラー採用ならびにフォーミュラーの現状。国際医薬品情報。2020年8月24日；No.1160：18-21

3 その他の著作

[解説、報告書、その他の著作]

- 1) 坂巻弘之：イノベーション推進と薬剤費コントロールを実現する薬価制度の議論が重要。日本医事新報。2020年2月22日；No.5000：40
- 2) 坂巻弘之：高額医療技術は保険収載の議論より価格設定のあり方が重要。日本医事新

- 報. 2020年4月25日; No.5009: 63
- 3) 坂巻弘之:「新型コロナウイルス感染症における医薬品供給不安に備えよ. 日本医事新報. 2020年5月23日; No.5013: 66
 - 4) 坂巻弘之: 類似薬効方式による高額再生医療製品償還価格算定の問題点. 日本医事新報. 2020年7月4日; No.5019: 62
 - 5) 坂巻弘之: 高額薬価で既存ルールに限界、新技術の価格設定に標準的原価モデルの検討を. 日本医事新報. 2020年8月1日; No.5023: 62
 - 6) 坂巻弘之: 『オーソライズドジェネリック』はジェネリックの扱いでよいのか? (1): 形を変えた長期収載品依存. 日本医事新報. 2020年9月19日; No.5030: 54
 - 7) 坂巻弘之: 『オーソライズドジェネリック』はジェネリックの扱いでよいのか? (2): 薬剤費コントロールの効果が減少. 日本医事新報. 2020年9月26日; No.5031: 58
 - 8) 坂巻弘之: 『オーソライズドジェネリック』はジェネリックの扱いでよいのか? (3): バイオ医薬品も一物2価に. 日本医事新報. 2020年11月28日; No.5040: 56
 - 9) 坂巻弘之: ジェネリック医薬品ロードマップ、ポスト 80%は“80%の堅持”が現実的. 日本医事新報. 2020年12月12日; No.5042: 61
 - 10) 坂巻弘之: 薬価の毎年改定の課題 (1) - 製薬企業経営への影響を検討すべき. 日本医事新報. 2021年1月30日; No.5049: 57-58
 - 11) 坂巻弘之: 薬価の毎年改定の課題 (2) - 毎年改定はどうあるべきか. 日本医事新報. 2021年オンライン上への公開

4 学会, 協会, 公的団体の委員など

[官公庁委員]

- 1) 厚労省医政局経済課: バイオ医薬品の使用促進に係る普及啓発等事業 (委員)
- 2) 厚労省医政局経済課: 後発医薬品ロードマップ検証検討事業 (委員、座長代理)
- 3) 厚労省保険局医療課: 診療報酬改定の結果検証に係る特別調査 - 後発医薬品の使用促進策の影響及び実施状況調査 (委員)
- 4) 厚労省保険局医療課: かかりつけ薬剤師・薬局の評価を含む調剤報酬改定の影響及び実施状況調査 (委員)
- 5) 厚生労働省医政局: 医療用医薬品の安定確保策に関する関係者会議 (委員)

[学会, 協会, 公的団体の委員、客員研究員など]

- 1) 公益財団法人医療経済・社会保険福祉協会 医療経済研究機構 客員研究員
- 2) 国際医薬経済・アウトカム研究学会 International society for Pharmacoeconomics and Outcomes Research (ISPOR)、アジア太平洋 理事、日本部会 評議員
- 3) 日本医療・病院管理学会 会員
- 4) 日本薬学会 会員
- 5) 日本医療マネジメント学会 会員
- 6) Drug Information Association (DIA) 会員
- 7) 日本レギュラトリーサイエンス学会 会員
- 8) 一般財団法人 医療経済研究・社会保険福祉協会 医療経済研究機構 客員研究員
- 9) 公益財団法人 医療科学研究所「医療と社会」 編集幹事

- 10) 公益財団法人ファイザーヘルスリサーチ財団 理事
- 11) 公益財団法人慈愛会 評議員
- 12) 単回医療機器再製造推進協議会 特別会員
- 13) 一般社団法人日本ユーザビリティ医療情報化推進協議会 (JUMP) 医療情報利活用推進委員会 委員

6 講演, 放送

[企業等における講演]

- 1) 坂巻弘之: バイオシミラーと医療経済 (医療関係者向け web 講演会、座長と講師). 2020 年 7 月 28 日、サノフィ株式会社主催
- 2) 坂巻弘之: バイオシミラーと医療経済 (医療関係者向け web 講演会、座長と講師). 2020 年 11 月 26 日、セルトリオン株式会社主催
- 3) 坂巻弘之: バイオシミラーと医療経済 (医療関係者向け web 講演会、講師). 2020 年 11 月 28 日、Endocrinology Debate and Global Exchange in Japan(EDGE-J; サンド株式会社共催)
- 4) 坂巻弘之: 医療機器と医療経済 (社内講演会、講師) 2020 年 12 月 8 日、サクラ精機株式会社
- 5) 坂巻弘之: バイオ医薬品、再生医療等製品の市場状況 (医療関係者向け web 講演会、講師). 2020 年 12 月 25 日、株式会社矢野経済研究所主催
- 6) 坂巻弘之: わが国の社会保障制度改革の概論 (製薬企業向けオンデマンド web 講演会、講師) 2021 年 1 月から、学校法人医学アカデミー主催
- 7) 坂巻弘之: 感染症クライシス～わが国の医薬品サプライチェーンの問題点～ (企業経営者向けセミナー、講師) 2021 年 1 月 15 日、(New Business アカデミー、一般社団法人アドバンスト・ビジネス創造協会主催)
- 8) 坂巻弘之: バイオシミラーと医療経済 (医療関係者向け web 講演会、座長と講師). 2021 年 1 月 25 日、マイラン EPD 合同会社主催

[マスコミ等への引用]

- 1) 水虫治療薬に睡眠導入剤混入 小林化工に 116日間の業務停止命令. NHK ニュース 2021 年 2 月 9 日
<https://www3.nhk.or.jp/news/html/20210209/k10012857601000.html>
- 2) ジェネリック医薬品大手「日医工」に業務停止命令 富山県. NHK ニュース 2021 年 3 月 3 日 <https://www3.nhk.or.jp/news/html/20210303/k10012895411000.html>
- 3) ジェネリック普及に逆風. 中日新聞朝刊 2021 年 2 月 9 日 19 頁
- 4) 逆境製薬 (中) 後発薬やんだ追い風. 読売新聞朝刊 2021 年 1 月 29 日 8 頁
- 5) 信頼を取り戻すために何が必要か—相次ぐ後発品企業の不祥事. 日刊薬業 15550 号 2021 年 1 月 25 日 15-16 頁
- 6) 2021 年コロナ禍であなたの持病薬が消える!. 女性自身 2021 年 1 月 19・26 日号 48-49 頁
- 7) ミスや違反重ね—2 人で作業 守らず出荷前検査見逃す. 読売新聞朝刊 2020 年 12 月 13 日 37 頁

- 8) バイオ後続品に AG の壁—「普及を阻害」と指摘相次ぐ。薬事日報 12370 号 2020 年 10 月 16 日 1 頁
- 9) コロナ禍で赤字経営「第 3 波」拍車か—医療機関厳冬の予感。東京新聞朝刊 2020 年 11 月 17 日
- 10) GE 原薬問題への提言：原薬問題、欠品を前提としたリスク管理を 神奈川県立保健福祉大大学院・坂巻教授、監視や代替薬リストアップなど 日刊薬業 15436 号 2020 年 7 月 30 日 3-4 頁
- 11) 医療費、医師数抑制長年の政策の誤り—このままでは地域医療崩壊。東京新聞朝刊 2020 年 6 月 14 日

7 学会等での活動

[学会等での講演・発表・会議録]

- 1) 坂巻弘之：バイオシミラーと医療経済（オンデマンド web 講演）。日本小児内分科学会特別学術集会 2020 年 8 月 19 日（サンド株式会社共催）
- 2) 坂巻弘之：リアルワールドデータ企業への期待、利用可能性と課題—。（基調講演ならびに座長）。ISPOR 日本部会講演会。2020 年 9 月 16 日（web 開催）
- 3) 坂巻弘之、村田達教、大野慎也：費用対効果評価制度で生まれる新しいキャリアパス（パネルディスカッション座長）。第 58 回日本医療病院管理学会学術総会。2020 年 10 月 3 日（web 開催）
- 4) 鄭 雄一、坂巻弘之、渡邊 亮：公衆衛生活動と専門職教育の統合；新型肺炎対応をきっかけとして—神奈川県立保健福祉大学における専門職教育と公衆衛生活動の統合に向けた取り組み。第 79 回日本公衆衛生学会総会抄録集。2020 年 10 月；p.181
- 5) 坂巻弘之：バイオシミラー普及に関するこれまでの取り組みと今後の議論（基調講演とパネルディスカッション座長）。第 6 回バイオシミラーフォーラム。2020 年 10 月 14 日（web 開催）
- 6) 坂巻弘之：日本の医療制度におけるイノベーションと持続可能な医療の実現に向けて—投資と改革への最優先事項—（web パネルディスカッション、パネリスト）2020 年 11 月 25 日、The Economist 主催

8 学内教育活動

[学内教育活動]

- 1) ヘルスイノベーション研究科：医療技術評価（前期・後半）
- 2) ヘルスイノベーション研究科：医薬品・医療機器開発論（後期・前半）
- 3) ヘルスイノベーション研究科：ヘルスイノベーション演習基礎：担当学生 2 名
- 4) ヘルスイノベーション研究科：ヘルスイノベーション演習
- 5) 修士論文指導（1 年生 2 名、2 年生 2 名）

[他大学出講による教育活動]

- 1) ヨンセイ大学グローバル健康研究センター 客員研究員
- 2) 帝京平成大学薬学部 非常勤講師：「社会保障制度論」を担当。（Web による授業、2020 年 4 月 23 日～5 月 29 日各木・金曜 2、3 限開講）。

- 3) 慶應義塾大学薬学部 非常勤講師：医薬品情報学「医療経済評価」を担当（2020年7月9日 web 開講）
- 4) 岐阜薬科大学大学院薬学研究科 非常勤講師：グローバルレギュラトリーサイエンス「医療経済評価」を担当（2020年10月20日 web 開講）および博士課程学生の指導
- 5) 慶應義塾大学大学院健康マネジメント研究科 非常勤講師：薬剤経済学「費用データ」を担当（2020年10月19日 web 開講）
- 6) 東京都立大学大学院健康福祉学研究科 非常勤講師：保健医療管理学「医療費と疾病管理」を担当（2020年12月4日 web 開講）

9 学内各種委員会活動

[学内各種委員会活動]

- 1) 神奈川県立保健福祉大学 教育研究審議会委員
- 2) 神奈川県立保健福祉大学 将来構想委員会地域貢献分科会委員
- 3) イノベーション政策研究センター センター長
- 4) ヘルスイノベーション研究科 副研究科長
- 5) ヘルスイノベーション研究科 運営委員会 委員
- 6) ヘルスイノベーション研究科 研究助成審査委員長

[イノベーション政策研究センター活動]

センター長としての職務の他、以下の事業の実施ならびに助言

- 1) 保健医療データ活用事業ならびに講演
- 2) 東京都心部における就労女性の働き方・生活習慣と健康との関連に係る調査研究
- 3) 神奈川県における地域包括ケアシステム及び地域医療計画・構想立案のための基礎資料作成に関する調査研究
- 4) 神奈川県における将来の高齢者像と社会参加促進策に関する調査研究
- 5) RWD 解析技術を活用した国保データ等の活用と解析手法の確立についての調査研究
- 6) 座間市保健医療データ活用プロジェクト

10 科学研究費補助金，その他の補助金などの受託

[科学研究費補助金，その他の補助金などの受託]

- 1) 厚生労働行政推進調査事業費補助金（地域医療基盤開発推進研究事業）「次世代創薬技術革新のための研究開発基盤整備を目的とした調査研究（課題番号 20IA2009）」交付金：3,204千円（主任研究者）

[研究助成金の受託]

- 1) 奨学寄附金（東京理科大学から移管；前年度からの繰り越し）

[共同研究]

- 1) 名城大学薬学部病院薬学教室（半谷真七子人教授）「在宅医療での薬剤師の業務を評価する在宅薬学管理評価基準票の開発」共同研究
- 2) 東邦大学薬学部医療薬学教育センター薬事法学研究室（平賀秀明助教）「患者宅への医

薬品配送時の問題点と患者が許容できる配送時間に関する調査」共同研究

- 3) 日本コミュニティファーマシー協会（吉岡ゆうこ会長）「箱出し調剤導入に関する調査研究」共同研究
- 4) ウイルス等感染症対策に向けた機器・システム等の構築に資する基礎研究（秘密保持契約に基づき詳細情報を割愛、兼業届出）